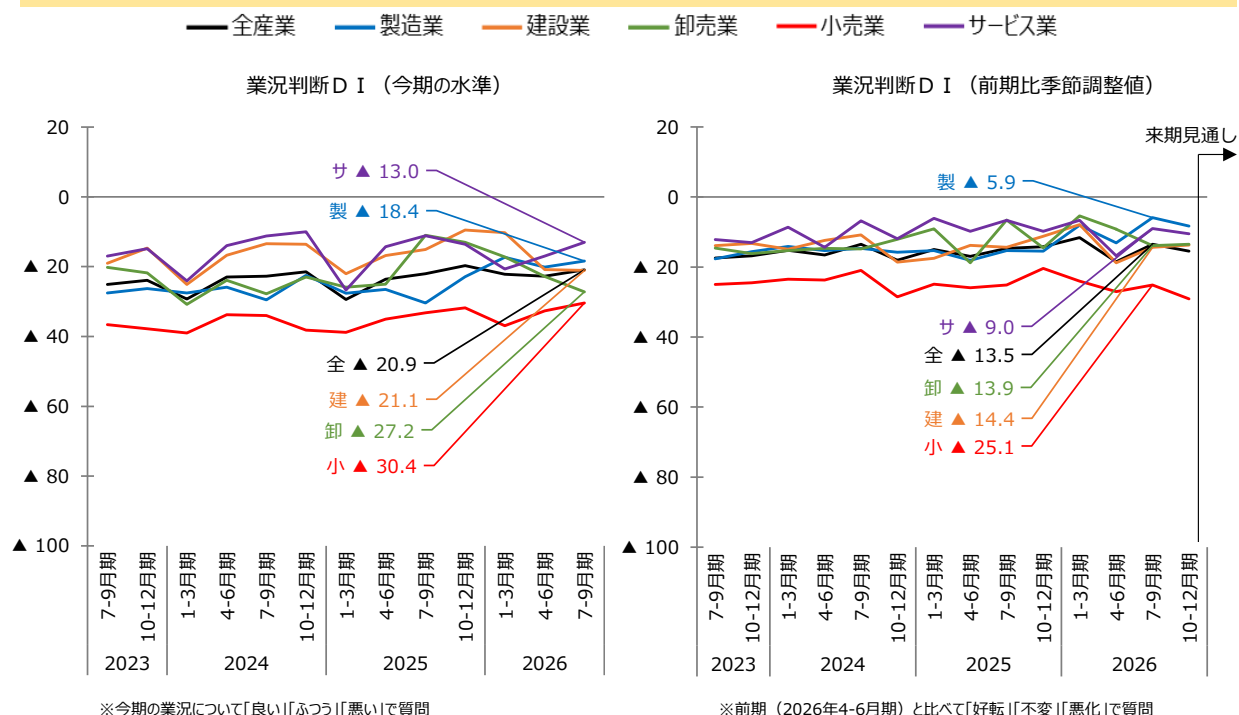


第185回 中小企業景況調査（2026年7-9月期） 中国



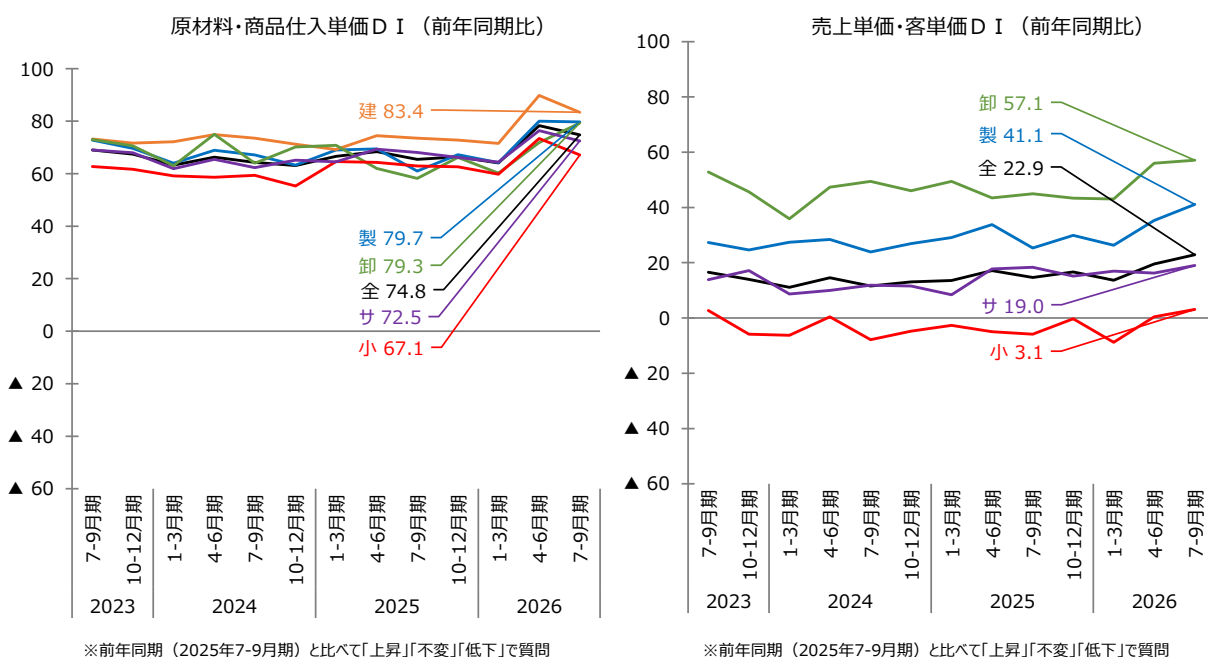
1. 業況感

中国地域の中小企業の業況判断DI（今期の水準）は、全産業で前期（2026年4-6月期）より1.8ポイント増の▲20.9と3期ぶりに上昇した。産業別にみると、サービス業、小売業、卸売業、製造業で上昇し、建設業で低下した。



2. 仕入単価・販売単価

原材料・商品仕入単価DIは、全産業で前期より3.5ポイント減の74.8と2期ぶりに低下した。産業別にみると、卸売業で上昇し、建設業、小売業、サービス業、製造業で低下した。また、売上単価・客単価DIは、全産業で前期より3.4ポイント増の22.9と2期連続して上昇した。産業別にみると、すべての産業で上昇した。



＜調査概要＞ 調査時点は2026年9月1日、調査対象は中小企業基本法に定義する全国の中小企業

今期の調査対象企業数：18,829 有効回答企業数：17,902 有効回答率：95.1% うち、中国：1,655企業

※本資料の集計対象の都道府県は、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県です。

第185回 中小企業景況調査（2026年7-9月期） 中国

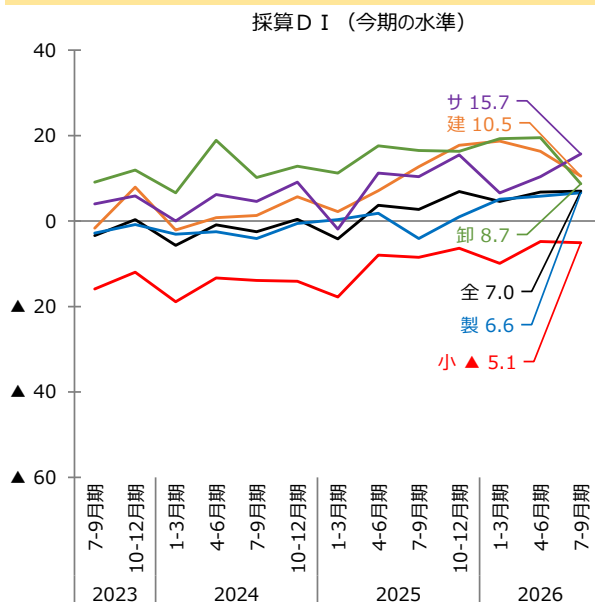
Be a Great Small 中小機構 中小企業の価値を、日本の原動力に。

3. 採算

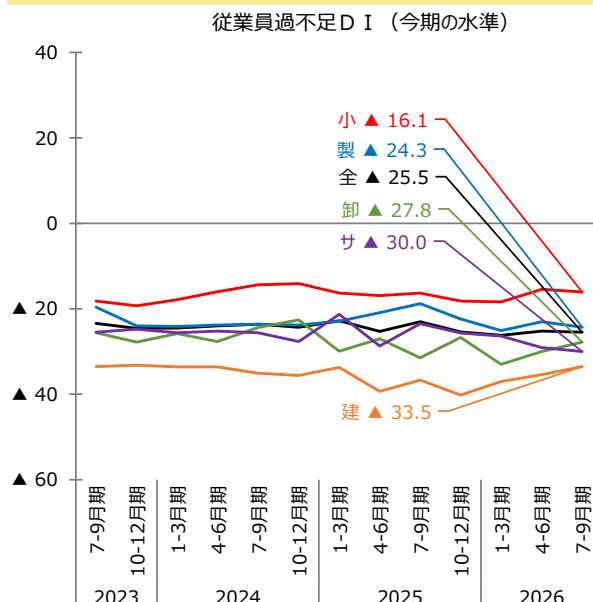
採算DIは、全産業で前期より0.2ポイント増の7.0とやや上昇し、2期連続して上昇した。産業別にみると、サービス業、製造業で上昇し、卸売業、建設業、小売業で低下した。

4. 従業員過不足

従業員過不足DIは、全産業で前期より0.3ポイント減の▲25.5とやや低下し、2期ぶりの低下となった。産業別にみると、卸売業、建設業で上昇し、製造業、サービス業、小売業で低下した。



※今期の採算について「黒字」「収支トントン」「赤字」で質問



※今期の従業員について「過剰」「適正」「不足」で質問

5. 中国の中小企業の声

業況判断の背景		業種
現 状	牡蠣のへい死により、仕入れ牡蠣の単価上昇・原料及び資材・人件費高騰を要因に販売価格の交渉を進めている。しかしながら、安価な韓国産牡蠣に切り替える業者もあり、苦戦を強いられている。	製造業 冷凍水産食品製造業
	工事料に対して、施工を担う技術者の不足が続き、体制の維持に不安がある。材料の入手難もあり、工程の確保が難しくなっている。	建設業 一般土木建築工事業
	F A 事業は製造業の設備案件増加。「冷住」事業も猛暑による需要増とリニューアル案件が増加。データセンター等の電力需要増加により県外で蓄電所案件の引合いが多い。	卸売業 電気機械器具卸売業(庭用電気機械器具を除く)
	販売する春の苗が販売時期の雨（悪天候）、また7～8月の高温、少雨で植えてもできなかった。これから苗を蒔いても、天候による影響により生育が悪いと思われる。	小売業 苗・種子小売業
	業務依頼（受注）は問題ないが、ワーカー不足になっている。労働時間改正等、労働者は時間の規制を望んでいない。	サービス業 ビルメンテナンス業
見 通 し	2027年6月までの受注が確定しており、2030年までは好調であろうと言われている。ホルムズ海峡の問題により材料確保が難しくならないか懸念される。	製造業 他に分類されないプラスチック製品加工業
	今期は民間工事の受注が増えたので好転したが、来期は資材の高騰などの影響により、民間受注が減少すると思われるので、来期の見通しが不安定である。	建設業 一般土木建築工事業
	市内における一般住宅の新築、リフォームの物件数が減少気味なため、売上に影響を受けている。さらに仕入高の転嫁が一部出来ていない物もあり、今後に不安を感じている。	卸売業 木材・竹材卸売業
	今期も経営業況は悪化している。物価がますます上昇し、消費者の買い控えが続いており、経営が好転する兆しはないように思われる。	小売業 食料品スーパーマーケット
	仕入資材（石油製品：接着剤、シンナーなど）の入荷が通常翌日に届くものが1か月半かかっており、その遅れによりサービス提供に不安がある。	サービス業 衣服裁縫修理業

※中小企業景況調査の自由回答(フリーコメント)